



Library's Half Year

2020.6～



6月	6/1 POP コンテスト作品募集開始 (～8/6)
	6/17 電子ジャーナルアンケート実施 (～6/30)
7月	7/3 一般利用者への貸出サービス、 来館前予約サービスを開始
	7/14 「学認を使ったログイン方法」公開 7/20 時間外開館再開 (本館)
8月	8/1 改修工事のため、本館雑誌棟閉鎖 (～2021.4)
	8/19 POP コンテスト投票開始(～10/31) 8/31 時間外開館開始(分館)
9月	9/18 電子ジャーナルアンケート集計結果公開 9/23 秋の文献検索ガイダンス開始
	9/30 サーモグラフィカメラ設置(本館)
10月	10/1 本館2階ラーニング・ commonsの 個人学習向け開放
	10/1 ハブブックセンター「ひと棚」連動 企画「図書館長の本棚」展示開始
11月	10/15 APC 割引プログラム(IOAP)参加 10/16 12時～10/19 臨時休館(2館)
	10/19 ヨミダス歴史館同時アクセス拡大 11/2 利用者アンケート実施 (～11/20) 11/16 第6回 POP コンテスト受賞者発表 11/17 聞蔵Ⅱ同時アクセス拡大 11/30 豊泉第52号 Web 公開

この半年間、弘大図書館は新型コロナウイルス感染症対策として様々な策を講じながらの開館を行ってきました。閲覧席やラーニング・ commonsは利用制限せざるを得ず、館内での各種ガイダンスや講習会も開催できないため、図書館内は静けさが際立っていますが、それは私たち図書館職員に「図書館の存在意義」について問いかけているようです。

コロナ禍にあっても皆さんの「学び」に役立ちたい…そんな思いから、こんな時こそ図書館ができることは何かを日々模索し続けています。オンライン授業でご活用いただけるガイダンス動画の公開をもその一つですし、自宅等から電子リソース(ジャーナル・データベース・eBook等)を利用するための支援や、臨時で出版社等から提供される様々なオンラインサービスの情報提供など、随時改善をしながら取り組んでいます。

今もって、新型コロナウイルス感染症は図書館の運営に様々な制約となって現れています。しかし見方を変えると、経験したことのないようなこのピンチが私達にはチャンスになるのかもしれない。本を借りる、本を読む、静かに勉強する…従来の図書館が担ってきた機能にとどまらず、電子媒体を含む蔵書構成の充実やそれらへのアクセス支援等、専門職としてできる様々なサポートとよりよいサービスを提供できるよう努力していきたいと思えます。

